

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		6,532	25,857	6,136	10,753	27,997	25,505	25,862
決算額(7年度は見込み)		2,325	1,156	2,418	2,067	1,526	12,351	25,862
実績の推移	事項名(7年度は見込み)	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	西日暮里ギャラリー展示件数	41	22	32	26	22	23	30
	ディスカバーあらかわ応募点数	100	-	-	100	73	80	100
	文化活動支援事業交付件数(公演数)	-	19	11	-	-	-	-
予算・決算の内訳								
令和5年度(決算)			令和6年度(決算)			令和7年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	芸文推進委員謝礼	117	報償費	芸文推進委員謝礼	83	報償費	芸文推進委員謝礼	160
旅費・需用費	職員旅費、区長賞記念品、事務用品他	697	旅費	職員旅費	67	旅費	職員旅費、芸文推進委員旅費	220
役務費	サイン清掃費等	121	需用費	区長賞記念品、事務用品他	482	需用費	区長賞記念品、事務用品他	762
委託料	運営形態調査委託等	0	役務費	サイン清掃費等	125	役務費	サイン清掃費等	165
使用料等	ディスカバー付帯設備等	152	使用料等	ディスカバー付帯設備等	156	委託料	運営形態調査委託	9,902
備品購入費	部備品購入費	0	備品購入費	部備品購入費	62	使用料等	ディスカバー付帯設備等	173
負担金等	JOBAN協議会負担金等	439	負担金等	JOBAN協議会負担金等	11,376	負担金等	JOBAN協議会負担金等	14,400

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
		給与関係費	13,448	6,792		▲ 6,656	地方税等	0
物件費	969	812	▲ 157	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	79	79	都支出金	0	0	0	
行政費用	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等	557	11,460	10,903	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	740	740	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
賞与・退職給与引当金繰入額	898	899	1	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 16,612	▲ 20,782	▲ 4,170	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	16,612	20,782	4,170	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 16,612	▲ 20,782	▲ 4,170	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 16,612	▲ 20,782	▲ 4,170	

備考 行政費用のうち維持修繕費は、6年度に公共サインを修繕したため増加した。補助費等は、地域魅力発信事業での補助金のため増額となった。

問題点・課題 ①ディスカバーあらかわの令和6年度の区民応募率は前年比で減となったが、全体の応募点数は増えた。引き続き太平洋美術会、荒川区美術連盟と協力し、区民の応募が増えるよう周知を行う。
②「文化交流施設」について、区民が文化を通じて気軽に交流し、多世代の居場所となる施設として、望むべき機能を具体的に検討し、整備基本方針を策定した。整備基本方針を基に、開設に向け、施設構想や設計、運営等の検討を進めていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き関係団体と協力して周知を行うとともに、特に他イベント内での周知に力を入れていく。	チラシ配布やポスター掲示、団体会員への周知等、関係団体と協力して周知に力を入れた。	引き続き関係団体と連携した周知を行うとともに、特にイベント内での周知に力を入れていく。
②	引き続き施設視察や参加組合員予定者等との打合せによる調査研究を重ね、ゾーニングイメージの具体化に向けた検討等を行う。	施設視察や参加組合員予定者等との打ち合わせを行い、施設構想の推進に務めたほか、管理運営方法の各々性質の調査研究を行った。	施設視察や参加組合員予定者等との打合せによる調査研究のほか、事業者ヒアリング調査を検討し、施設構想の具体化を図る。
③			
他区の実況	(実施 0 区)	未実施 0 区	不明 22 区)
議(要質問状)	平成28年度決特 平成29年度11月会議 令和2年度予特 令和2年度決特	芸術文化振興基金の取り扱いについて 芸術文化振興基金の活用について ピクトグラム講演会(オリンピック・パラリンピック文化プログラム)について 西日暮里駅前地区再開発事業における文化拠点について	

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	05-01-06		戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	彫刻の街づくり事業		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田		
			担当者名	相馬	内線	2522		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-04-01	彫刻の街づくり事業費						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 7年度 <input type="radio"/> 6年度） <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業							
開始年度	昭和 60（ 1985 ）年度	根拠	法令等					
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 11（ 2029 ）年度	法令等						
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	緑の多い広場、公園やゆったりとした歩道など、区民の多くが憩い、集う場所に彫刻を設置し、新しい景観、ゆとりとやすらぎの空間を区民に提供する魅力ある街づくりを推進することを目的とする。							
対象者等	区民及び区外からの訪問者							
内容	○彫刻作品の設置 生活にゆとりとやすらぎを創りだし、住み続けたい街、魅力ある街づくりの一環として彫刻を設置し、適切に管理するものである。 <設置場所の基本的な考え方> ①区民や区外の人が多く利用する場所（本庁舎前、主要駅、多数の区民の集う拠点施設、公園等） ②特定区民の利用する場所（学校、校外教育施設等） 設置場所、設置施設に適したシンボル性や親しみを感じられるものを設置してきた経緯がある。 ○「あらかわ街なか美術館」の開設 区内全域を「あらかわ街なか美術館」に見立て、彫刻作品（138作品）に二次元コードを整備して区ホームページと連動した作品紹介を通し、芸術文化による魅力ある街づくりを進める。							
経過	○彫刻作品の設置 ・「緑と彫刻の街づくり事業」として昭和60年度から公共の広場、公園、道路などに計151作品（うち寄贈102作品）を設置。（令和7年4月時点） ・平成15年から平成18年は新規の設置は行わず、清掃・メンテナンス及び修繕のみ行ってきた。 ・平成19年度以降は東京藝術大学との連携事業として卒業・修了作品の中から区長賞受賞作品を設置。 ・平成29年度寄贈された極彩色木彫作品48作品を区有施設に設置。 ・平成30年5月寄贈された「山吹の花一枝」像を日暮里駅前に設置。 ・平成31年3月荒川総合スポーツセンター改修工事に伴い、周辺の彫刻5作品を野球場周辺へ移設。 ○インプログレス作品「汐入タワー」の管理 ・平成23年3月に都立汐入公園（南千住8丁目）内に設置、竣工。 ・平成29年8月1日にクロージングイベントを実施し、作品の展示を終了。							
必要性	彫刻は、街にゆとりとやすらぎを創出し、地域文化の向上と区のイメージアップを図るため設置してきた。「豊かさの実感できる社会」の創造が求められるなか、設置した彫刻が区民に親しまれるよう適切に管理していくことが重要である。							
実施方法	（ 二部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ） 彫刻作品の設置：彫刻作品の清掃・メンテナンスを行い、作品を適切に管理する。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			4年度	5年度	6年度	7年度 見込み		目標値 (8年度)
	①	彫刻の修繕完了率(%)	100	100	100	100	100	修繕完了数（年度内）/修繕必要数
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
7年度		8年度						
推進	推進	これまでに区内に設置した彫刻作品を活用して、新しい景観、ゆとりとやすらぎの空間を区民に提供するために、彫刻作品の適切な管理と魅力の発信を推進する。						

予算・決算額等の推移	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額	2,463	2,155	2,969	1,740	1,709	1,804	1,596
決算額 (7年度は見込み)	575	712	2,588	1,548	675	860	1,596
実績の推移	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
彫刻の清掃メンテナンス (体)	49	55	66	60	60	78	60
彫刻の修繕数 (体)	0	0	1	0	0	0	0
区内の彫刻数 (体)	144	146	148	149	150	151	152
設置数	2	2	2	1	1	1	1

令和5年度 (決算)			令和6年度 (決算)			令和7年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	アートセミナー講師謝礼	0	報償費	アートセミナー講師謝礼	27	報償費	アートセミナー講師謝礼	28
需用費	賄、消耗品、彫刻修繕	6	需用費	賄、消耗品、彫刻修繕	7	需用費	賄、消耗品、彫刻修繕	451
委託費	彫刻・壁面清掃、アプリ更新、剪定	669	委託費	彫刻・壁面清掃、アプリ更新、剪定	820	委託費	彫刻・壁面清掃、剪定	1,111
使用料及び賃借料	アートセミナー会場使用料	0	使用料及び賃借料	アートセミナー会場使用料	6	使用料及び賃借料	アートセミナー会場使用料	6

行政コスト計算書	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
		給与関係費	5,132	3,196		▲ 1,936	地方税等	0
物件費	675	832	157	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
行政費用	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	27	27	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	343	423	80	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 6,150	▲ 4,478	1,672
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0
	行政費用合計 (b)	6,150	4,478	▲ 1,672	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 6,150	▲ 4,478	1,672
	特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0
	特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 6,150	▲ 4,478	1,672

備考 行政費用では、物件費において三年に一度実施している屋内作品の清掃を行ったため、前年度より増となっている。

問題点・課題 ○設置して年数の経つ作品もあることから、適切な維持管理を行う必要がある。
○身近な芸術鑑賞として区民に親しんでもらえるよう「あらかわ街なか美術館」の整備を引き続き行い、区内に設置している彫刻作品のPRを強化するなど、すでにある芸術作品の活用を図る必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、彫刻の定期清掃時に不具合や破損個所等の点検を実施し、適切な維持管理を行う。	彫刻の定期清掃時に不具合や破損個所等の点検を実施し、適切な維持管理を行った。	引き続き、彫刻の定期清掃時に不具合や破損個所等の点検を実施し、適切な維持管理を行う。
②	街なか美術館事業の一環としてワークショップの開催や、区HPの内容の充実等を図り、PRを行う。	街なか美術館事業の一環としてワークショップを開催したほか、区HPの内容の充実等を図り、PRを行った。	あらかわ街なか美術館事業の推進のため、区HPの内容等の充実を図り、PRを行う。
③			

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
-------	--------------------------

議(要質)問(状) 平成25年予特 彫刻等のPRについて
平成27年決特 汐入タワーの安全管理について
平成27年予特 彫刻の適切な設置場所について
令和3年観光・文化 あらかわ街なか美術館について
令和5年決特 街なか美術館と彫刻の維持管理について

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	05-01-07	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	音楽のまちづくり推進事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	須田	
		担当者名	池田		内線	2523	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-05-01	音楽のまちづくり推進事業費					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 7年度 <input type="radio"/> 6年度)		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	昭和 61 (1986) 年度	根拠	東京荒川少年少女合唱隊事業補助金交付要綱				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 令和 11 (2029) 年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術文化の振興				
目的	音楽を中心とする地域文化の振興を図り、区の芸術文化の向上に寄与することを目的とする。区に本拠地を置く東京荒川少年少女合唱隊は、合唱活動を通じて荒川区のイメージアップと区民の文化振興、青少年の健全育成に大きく貢献していることから、その活動を支援することで、音楽を通じた区の文化振興を図る。						
対象者等	東京荒川少年少女合唱隊 代表：大村 光彦 指揮者：米谷 毅彦 隊員数：19名						
内容	≪合唱隊への補助≫ 合唱隊の活動に要する経費について、補助し、活動を支援する。 （参考）合唱隊の主な活動状況 ・定期演奏会（年2回） ・えきなかコンサート@JR日暮里駅（年2回） ・「ふらっとにっぽり」における公開練習&ミニコンサート ・創立記念式典&ミニコンサート ・区内でのイベントへ多数出演（区民音楽会やJR日暮里駅クリスマス点灯式、区新年祝賀式等） ・交流都市等へ出張コンサート ≪街なかピアノを活用したコンサート≫ 東京藝術大学美術学部によるラッピングを施した街なかピアノを活用したコンサートの実施						
経過	昭和40年に創立され、区内外で幅広く活動している。 ≪合唱隊による演奏≫ ①区内での公演 平成15年度～18年度：区役所玄関ロビーにて年2回ミニコンサートを開催 平成17年度に、創立40周年記念のため記録ビデオ「ここで唄いあげた日々 東京荒川少年少女合唱隊40周年、そして未来へ」を作成。 平成22年度～：クリスマスツリー点灯式(ハッピーイズプロジェクトJR日暮里駅コンコース) 令和4年度：釜石市より合唱団体を招き、渡邊顕磨生誕90周年記念コンサートを企画・実施 令和5年度～：えきなかコンサートやふらっとにっぽり公開練習等、活動の場を拡大 ②あらかわキャラバン事業による派遣 平成23年度釜石市、平成24年度秩父市、平成25年度北杜市、平成30年度釜石市へ派遣						
必要性	荒川区のイメージアップ、青少年の健全育成や音楽を中心とした地域の芸術文化活動の広がりをもたらすため、合唱隊の活動を今後も支援していく必要がある。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員） 補助金の支出については、補助要綱に基づき、事業内容を審査の上、補助金額を決定している。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値(8年度)	
	① 定期演奏会来場者数(%)	29	33	35	40	60	会場の定員の9割を100とした場合の割合
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
7年度	8年度						
継続	継続	合唱活動を通じた区のイメージアップと文化振興、青少年の健全育成を図る事業であるため、継続して実施する。					

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		1,852	1,852	1,852	1,852	2,331	2,377	2,319
決算額 (7年度は見込み)		1,852	1,210	1,297	1,852	2,234	2,203	2,319
実績の推移	事項名 (7年度は見込み)	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	隊員数	32	28	18	19	18	19	25
	定期演奏会来場者数	724	0	181	445	509	536	700
	演奏回数	15	2	4	6	9	8	11

予算・決算の内訳								
令和5年度 (決算)			令和6年度 (決算)			令和7年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
負担金補助等	合唱隊事業に対する補助金	1,852	負担金補助	合唱隊事業に対する補助金	1,852	負担金補助	合唱隊事業に対する補助金	1,852
報償費	コンサート出演謝礼	30	報償費	コンサート出演謝礼	0	報償費	コンサート出演謝礼	30
需用費	消耗品・賄い	9	需用費	消耗品・賄い	19	需用費	消耗品・賄い	36
役務費	ピアノ調律手数料	15	役務費	ピアノ調律手数料	15	役務費	ピアノ調律手数超	16
委託料	演奏等委託	300	委託料	演奏等委託	300	委託料	演奏等委託	300
使用料及び賃借料	コンサート会場等使用料	28	使用料及び賃借料	コンサート会場等使用料	17	使用料及び賃借料	コンサート会場等使用料	85

行政コスト計算書	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
		給与関係費	3,539	3,596		57	地方税等	0
	物件費	352	351	▲1	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,882	1,852	▲30	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	236	476	240	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲6,009	▲6,275	▲266
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	6,009	6,275	266	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲6,009	▲6,275	▲266
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲6,009	▲6,275	▲266

備考 行政費用の物件費は令和5年3月に設置された街なかピアノを活用したコンサートの実施に係る経費、補助費等は東京荒川少年少女合唱隊への補助金である。

問題点・課題
 ・コロナ禍の活動縮小等により隊員が減少したため、隊員を増やしていくために、行事に積極的に参加し、活動をPRしていく必要がある。
 ・団体の意向を踏まえ、調整を図りながら、必要な支援を続けていく。
 ・区の行事への参加をはじめ、活動の機会や場所についての情報提供を区から積極的に行い、あわせて団体の広報活動についても支援を行っていく。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き合唱隊への支援をしていくとともに、音楽イベントの実施等を通し、芸術・文化の振興を図っていく。	駅での演奏会や街なかピアノコンサート等を通し、身近な場所で音楽に親しむことのできる環境の整備に努めた。	隊員の増員及びより多くの人に合唱活動を知ってもらうために、引き続き、演奏の場の創出と広報に努める。
②			
③			

他区の実況	(実施 12 区 未実施 0 区 不明 10 区)
-------	---------------------------

況議(要質問状) 令和6年度決特：音楽のまちづくり推進事業の内容について

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	05-01-08	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	東京藝術大学との連携事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	須田	
		担当者名	齊藤		内線	2521	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-06-01	東京藝術大学との連携事業費					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 7年度 <input type="radio"/> 6年度)		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	平成 21 (2009) 年度	根拠	法令等				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	令和 11 (2029) 年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術文化の振興				
目的	荒川区の隣接地に所在し、我が国の芸術文化の発展に大きな役割を果たしている国立大学法人東京藝術大学と、芸術・文化振興に係る事業はもとより、幅広く区行政全体にわたって相互の人材及び物的資源を最大限に生かした緊密な連携のもとに協力して事業を実施し、区における芸術文化の振興を図る。						
対象者等	東京藝術大学関係者、区民等						
内容	「国立大学法人東京藝術大学・荒川区 芸術・文化振興のための連携に係る合意書」を踏まえて、次の事業を実施。 (1)平成19年度から、東京藝術大学卒業・修了予定者が制作する彫刻作品を対象に荒川区長賞を授与し、受賞作品を区内に設置している。(平成22年度より「緑と彫刻の街づくり事業」から本事業に組替) (2)東京藝術大学音楽学部と連携し、卒業生・在学生等の若手演奏家によるコンサートを区内施設にて実施し、区の芸術・文化振興を図る。 (3)区内に活動拠点を置く東京藝術大学卒業生グループ「アブリュス」(以下「A+」)等と協力し、次代の芸術文化活動の担い手となる子どもの創造力を高めるためのワークショップ(以下「WS」)や知的障がい・発達障がいのある子どものための講座(アートセラピー)等を開催する。 (4)障がい者の芸術文化活動の推進するため、区内障がい者施設において、障がい者が芸術文化に触れ活動する機会の充実を図る。						
経過	平成19年度～東京藝術大学卒業・修了予定者制作彫刻作品を対象とした荒川区長賞授与 平成20年度：「芸術・文化振興のための連携に係る合意書」締結 平成20年度～：ふれあい館、保育園等でアートWS実施(～令和元年度) 平成21年度：水道局旧工業用水道事務所(以下、「旧水道局南千住施設」)をA+が使用(～平成24.9) 平成22年度～壁画制作(～令和元年度) 平成23年度～アートセラピー 平成27年度：東京藝術大学に旧水道局南千住施設を転貸借用(～平成30.5)、区PR映像作成 平成29年度～東京藝術大学音楽学部との連携により、区民向けコンサート開催 平成30年度：東京藝術大学との連携10周年事業(コンサート、ゆいアート展)開催 令和2年度～：ゆいの森等での子ども向けWS実施 令和6年度～：区内障がい者施設へのアーティスト派遣実施						
必要性	区民が身近なところで、質の高い芸術作品や芸術家に触れる機会を創出することは、区民の自主的な文化活動の促進につながるため、必要性が高い。						
実施方法	(2一部委託) (直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員) 東京藝術大学音楽学部及びA+に委託して実施している。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値(8年度)	
	① 藝大と連携した事業への参加者数(人)	435	875	857	850	880	一般向け+子ども向け事業への参加者数
	② 藝大と連携した事業数(事業)	7	7	9	8	8	一般向け+子ども向け事業数
③ 子どもへの芸術教育の推進(回)	6	7	7	8	8	子どもを対象とした事業・ワークショップ等の開催数	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
7年度		8年度					
重点的に推進	重点的に推進	これまで東京藝術大学との連携により実施してきたコンサートやワークショップ等を活用して、区民に身近な場所で質の高い芸術作品・芸術家と接する機会を提供していくため、重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		12,894	4,803	4,847	3,321	3,094	3,774	3,946
決算額(7年度は見込み)		9,382	3,973	4,267	2,927	2,699	3,074	3,946
実績の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
事項名(7年度は見込み)								
藝大卒業修了制作作品数累計		26	28	30	31	32	33	34
予算・決算の内訳		令和5年度(決算)			令和6年度(決算)		令和7年度(予算)	
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	奨学金、講師等謝礼	1,014	報償費	奨学金、講師等謝礼	1,014	報償費	奨学金、講師等謝礼	1,014
需要費	消耗品等購入	17	需要費	消耗品等購入	45	需要費	消耗品等購入	62
役務費	賞状筆耕、調律料	25	役務費	賞状筆耕、調律料	29	役務費	賞状筆耕、調律料	32
委託料	ワークショップ、展示台作成等委託	1,472	委託料	ワークショップ等委託	1,840	委託料	ワークショップ等委託	2,635
使用料等	コンサート会場使用料	171	使用料等	コンサート会場使用料	146	使用料等	コンサート会場使用料	203

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		5年度	6年度	差額	行政収入	勘定科目		5年度	6年度	差額
	給与関係費		4,866	3,996	▲ 870		地方税等		0	0	0
物件費		1,685	2,060	375	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		1,014	1,014	0	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		12	13	1		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		12	13	1		
賞与・退職給与引当金繰入額		325	529	204	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 7,878	▲ 7,586	292		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		7,890	7,599	▲ 291	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 7,878	▲ 7,586	292		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 7,878	▲ 7,586	292		

備考 行政費用では、委託料等として物件費及び区長賞奨学金等の報償費として補助費等が多くなっている。その他行政収入は、ワークショップ参加料である。

問題点・課題

① 区民のニーズ等に応じたコンサートの企画・実施等を通して、さまざまな世代が質の高い音楽に気軽に楽しめる場を提供していく必要がある。
② 区長賞授与作品等の芸術資源の活用や、ワークショップの開催等を通し、区民が身近な場所で美術に親しみ、体験することができる環境を整えていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	ニーズを踏まえ、より多くの区民が音楽に親しむことができるイベントを企画・実施していく。	親子向け・一般向けコンサートや街なかピアノコンサート等、対象を分けた多数の音楽イベントを企画・実施した。	引き続き、より多くの区民が身近な場所で音楽に親しむことができる機会を提供していく。
②	東京藝術大学との連携により、区民が気軽に美術作品に触れ、楽しむことができる事業を企画・実施していく。	区内障がい者施設へのアーティスト派遣事業や各種ワークショップ等を実施し、より多くの方に機会を提供した実施した。	引き続き、区長賞授与作品の周知等に取り組むとともに、美術作品の鑑賞等の機会等を増やしていく。
③			

他区の実況

(実施 3 区 未実施 19 区 不明 0 区)
・東京藝術大学との協定等締結による連携事業実施自治体数

状況(要旨)

平成27年度9月会議 南千住水道局跡地・東京藝術大学活動拠点での映像分野の取り組みの充実について
令和元年度9月会議 南千住図書館入口のペイント画の概要について

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		3,377	3,063	2,879	2,895	5,031	4,235	5,063
決算額(7年度は見込み)		1,694	1,599	1,619	2,109	3,539	2,962	5,063
実績の推移	事項名(7年度は見込み)	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	あらかわ俳壇の投句数(区外)	265	579	1,382	2,172	2,731	2,707	2,900
	あらかわ俳壇の投句数(子ども)	112	149	598	893	1,102	382	400
	俳句イベントの実施回数	8	3	3	5	4	9	9
俳句ポストの設置	17	20	20	21	21	21	20	
予算・決算の内訳								
令和5年度(決算)			令和6年度(決算)			令和7年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報償費	講師謝礼	616	報償費	講師謝礼	817	報償費	講師謝礼	1,165
旅費	職員旅費	196	旅費	職員旅費	74	旅費	職員旅費	479
需用費	消耗品購入、印刷製本	2,044	需用費	消耗品購入、印刷製本	1,374	需用費	消耗品購入、印刷製本	2,542
役務費	筆耕料	0	役務費	筆耕料	0	役務費	筆耕料	23
委託料	懸垂幕、タペストリー作成等	437	委託料	懸垂幕、タペストリー作成等	447	委託料	懸垂幕、タペストリー作成等	539
使用料等	会場使用料、付帯設備料	226	使用料等	会場使用料、付帯設備料	230	使用料等	会場使用料、付帯設備料	295
負担金	俳句ユネスコ協議会	20	負担金	俳句ユネスコ協議会	20	負担金	俳句ユネスコ協議会	20

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
		給与関係費	10,175	12,386		2,211	地方税等	0
物件費	2,903	2,126	▲777	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
行政費用	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等	636	837	201	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
賞与・退職給与引当金繰入額	679	1,640	961	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲14,393	▲16,989	▲2,596	
其他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	14,393	16,989	2,596	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲14,393	▲16,989	▲2,596	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲14,393	▲16,989	▲2,596	

備考 行政費用では物件費において、隔年で実施している俳句手帳の作成等があったことにより、5年度は金額が高くなっている。

問題点・課題 ① 俳句のまち宣言から10周年を迎えることを機に、機運の醸成を図り、「俳句のまちあらかわ」の区民の認知度をさらに向上させる必要がある。
② 若年層や入門者に興味を持ってもらうためのアプローチを行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	「俳句のまちあらかわ」をPRするとともに、俳句のまち宣言10周年を機に更なるPRを図る。	10周年記念事業として、記念吟行会や講座、句会ライブ等を企画・実施し、機運の醸成を図った。	引き続き、「俳句のまちあらかわ」をPRするとともに、宣言10周年の更なるPRを図り、更なる俳句振興につなげる。
②	入門者向けの事業や若年層向けのPRグッズ等を作成するなど、効果的なアプローチを検討する。	若者向けのPRグッズを作成するとともに、比較的若年層向けの事業等を企画・実施した。	入門者向けの事業やPRグッズの工夫等、効果的なアプローチを継続する。
③			

他 区の実況 (実施 1 区 未実施 21 区 不明 0 区)
江東区：きらり☆こうとう俳句祭(小中学校俳句大会)、区立中学校俳句部、俳句関連動画配信等

議 況(要旨) 令和3年予特 「俳句のまちあらかわ」の更なる推進について
令和4年予特 「俳句のまちあらかわ」の更なる推進について
令和5年度2月会議 俳句のまち宣言から10周年を迎えるにあたり今後の展開について
令和6年決特 中高生俳句バトルのPRについて
令和7年度予特 俳句の取り組みの推進について

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	05-01-10		戦略プラン	●協働 ○業務 ○財務 ○人事				
事務事業名	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団補助		部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田		
			担当者名	田口	内線	2523		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-01-01	財団職員人件費						
	01-02-01	財団運営費（財団運営費）						
事務事業の種類	○新規事業（○7年度 ○6年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業			
開始年度	昭和 63	(1988)	年度	根拠	地・自法232の2、公益財団法人荒川区芸術文化振興財団に対する助成等に関する条例			
終期設定	●有 ○無	令和 11	(2029)	年度	法令等			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画 ●非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01	芸術文化の振興					
目的	公共性と収益性のある芸術文化のための公益法人を育成することにより、事業の充実や新たな展開を図り区民サービスを充実させる。併せて、将来的に区財政の負担軽減を図る。							
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団 (ACC)							
内容	<p>本事業は芸術文化振興財団助成事業のうち、職員人件費及び財団運営に必要な運営費、理事会評議員会に関する経費、財務管理システム経費を補助するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和7年度(4月1日現在) 常勤職員：事務局長1人（固有）、管理係4人（派遣・うち1人育休）、文化事業係4人（派遣） ＜派遣職員8人、固有常勤職員1人、固有非常勤職員7人、固有非常勤理事1名＞ 運営費：光熱水費、消耗品費、健康診断費、通信運搬費、複写機等賃借料等 理事会評議員会経費：理事会（11人）、評議員会（16人）開催に係る経費 財務管理システム経費：データ回線使用料、システム機器リース経費等 							
経過	<p>平成18年度：町屋文化センター(所管：社会教育課)及び荒川遊園(所管：公園緑地課)の指定管理者となる。地域振興公社の所管課は区民生活部文化交流推進課となる。</p> <p>平成20年度：荒川遊園事業部長を設置</p> <p>平成21年度：理事長を常勤職員（固有）とし、管理係を1名増員。管理係に遊園安全担当係長を設置</p> <p>平成22年度：事務局長を固有職員とする。管理係に人材派遣職員を1名採用</p> <p>平成23年度：理事長と事務局長を兼務、管理係の人材派遣職員を1名減。荒川遊園の指定管理終了（区直営となったため）</p> <p>平成24年度：事務局長を配置し、理事長の兼務を解消。公益財団法人へ移行（4月1日）</p> <p>平成26年度：次長職を配置 平成27年度：次長職は事務局長が兼務、文化事業係の派遣職員数を1名増</p> <p>平成29年度：次長職を配置 令和元年度：次長職は事務局長が兼務</p>							
必要性	芸術文化事業の実施団体として、その活動を支援していく必要がある。 また、荒川区芸術文化振興財団の効率的な運営のため職員体制の確保は不可欠である。							
実施方法	(1直営) (直営の場合 ●常勤職員 ○会計年度任用職員) 補助金の交付							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み		目標値(8年度)
	①	友の会会員数	2,658	4,688	6,237	7,500	9,000	年度末時点での会員数 ※無料会員含む
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
7年度	8年度							
推進	推進	芸術文化振興の担い手としてのACCへの補助が必要であるため、推進する。						

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		57,946	50,580	50,672	50,320	50,052	55,601	58,214
決算額 (7年度は見込み)		43,108	42,240	43,749	44,616	47,711	49,144	58,214
実績の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
事項名 (7年度は見込み)								
派遣職員数		7	7	7	8	7	7	8
固有職員数		1	1	1	1	1	1	1
非常勤職員数		7	7	7	6	7	7	7
非常勤理事長		1	1	1	1	1	1	1

予算・決算の内訳

令和5年度 (決算)			令和6年度 (決算)			令和7年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
負担金補助等	財団職員人件費	39,934	負担金補助等	財団職員人件費	40,536	負担金補助等	財団職員人件費	47,823
負担金補助等	財団運営費	7,777	負担金補助等	財団運営費	8,607	負担金補助等	財団運営費	10,391

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	5年度	6年度	差額		5年度	6年度	差額	
行政費用	給与関係費	1,327	1,598	271	地方税等	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	47,711	49,144	1,433	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	89	212	123	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 49,127	▲ 50,954	▲ 1,827
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	49,127	50,954	1,827	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 49,127	▲ 50,954	▲ 1,827
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 49,127	▲ 50,954	▲ 1,827	

備考 行政費用では、負担金補助及び交付金として補助費等が多くかかっている。主な内訳としては、財団人件費、財団運営費である。給与改定等に伴い人件費が昨年より増加したことで、前年度比より増となっている。

問題点・課題 有料会員（インターネット会員）への新規入会、既存会員のインターネット会員への移行促進を図っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、会員制度の周知に努めつつ、会員が得られるメリットを充実させ、利用促進を図っていく。	インターネット会員の特典を強化し、新規入会や移行の増加を図った。会費収入やチケット購入のシステム化にも寄与している。	会員制度の周知に努めつつ、これまで以上にインターネット会員への新規入会・移行を促進できるよう、工夫していく。
②			
③			

他区の実況	(実施 18 区 未実施 0 区 不明 4 区)
-------	--------------------------

況議(要旨) 平成30年度決特 決算不用額の内訳について

予算・決算額等の推移	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額	55,368	54,617	53,576	52,818	48,760	49,024	46,701
決算額 (7年度は見込み)	32,637	22,035	26,805	31,512	28,165	42,076	46,701
実績の推移							
事項名 (7年度は見込み)	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
チケット収入率 (%)	46.6	36.9	37.3	43.3	56	50	50
参加・体験型事業件数	22	10	13	17	21	19	18
芸術文化・地域振興事業来場者数	38,734	15,784	19,178	33,259	39,952	43,840	40,686

予算・決算の内訳								
令和5年度 (決算)			令和6年度 (決算)			令和7年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	
負担金補助等	ほっとタウン発行 (財団運営費)	7,927	負担金補助等	ほっとタウン発行 (財団運営費)	9,038	負担金補助等	ほっとタウン発行 (財団運営費)	9,038
負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	20,238	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	33,038	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	37,663

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	5年度	6年度	差額		5年度	6年度	差額	
行政費用	給与関係費	885	1,199	314	地方税等	0	0	0
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	28,165	42,076	13,911	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計 (a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	59	159	100	行政収支差額 (a)-(b)=(c)	▲ 29,109	▲ 43,434	▲ 14,325
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額 (d)	0	0	0
	行政費用合計 (b)	29,109	43,434	14,325	通常収支差額 (c)+(d)=(e)	▲ 29,109	▲ 43,434	▲ 14,325
特別費用 (g)	0	0	0	特別収入 (f)	0	0	0	
特別収支差額 (f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額 (e)+(h)	▲ 29,109	▲ 43,434	▲ 14,325	

備考 行政費用では、負担金補助及び交付金として補助費等が多くかかっている。主な内訳は、広報誌発行費、芸術文化・地域振興事業費である。このうち、芸術文化・地域振興事業のイベントを充実したことにより、補助費が増加した。

問題点・課題 ①伝統文化指導者派遣事業については、多様な要望に合わせた活用方法を検討していく必要がある。
②荒川区の芸術文化振興をさらに促進するため、区民や団体の活動支援、区の将来を担う子どもたちを中心とした人材育成に貢献する事業を推進する必要がある。
③感染症の各種制限が撤廃された中で、区民の芸術文化への参加を促進できるような事業を展開していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、学校や各団体と連携して事業を推進していく。	区や国立劇場と連携して新たに歌舞伎鑑賞機運醸成事業を行うなど、改善内容を反映した事業運営を行った。	引き続き、学校や各団体とより連携して事業を推進していく。
②	引き続き、区民のニーズを捉えた事業を展開していく。	これまでよりも若い年齢層の参加を狙い、出演者を誘致するなど、より多くの区民のニーズに応える工夫を行った。	引き続き、区民のニーズを捉える工夫を行いながら、事業を展開していく。
③	公演情報を掲載しているHPをリニューアルし、区民が事業に参加しやすい環境整備に努める。	HPをリニューアルし、多くの人に使いやすいHPとなり、アクセス数も増加した。	複数のSNSを活用するなどして、区民が事業に参加しやすい環境整備に努める。

他区の実況	(実施 18 区)			未実施 0 区			不明 4 区)		
	況 (要質問)	平成25年度予特	区民ミュージカル事業の推進について	平成25年度決特	事業内容の把握と価値ある事業について	平成26年度決特	「アーティストバンク」の拡充について		

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	05-01-12	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	区民会館費	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	須田	
		担当者名	池田		内線	2523	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-01-01	区民会館管理運営費					
	01-02-01	営繕費（計画工事）					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 7年度 <input type="radio"/> 6年度）		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	昭和 49（ 1974 ）年度	根拠	荒川区民会館条例及び条例施行規則				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	法令等					
実施基準	<input checked="" type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術文化の振興				
目的	荒川区民会館を広く区民の利用に供するとともに、利用者サービスの向上を図るため、施設状況を良好に保持し、適切な管理運営を行う。						
対象者等	区民及び施設利用者						
内容	名称 荒川区民会館（愛称 サンパール荒川〔昭和56年度区民公募〕） 所在地 荒川区荒川1-1-1 電話 03-3806-6531 開館時間 午前9時から午後10時まで 休館日 年末年始（12月29日から1月3日） 構造・規模 SRC造 地下1階、地上6階 延床面積10,044.09㎡ 施設の概要 1F：大ホール（975席、1161.88㎡） 2F：ラウンジ・ギャラリー・街なか図書館 3F：小ホール（移動席300席、281.09㎡） 4F：第1集会室（洋室50名）、第2集会室（洋室50名）、第3集会室（洋室50名）、第4集会室（和室40名） 5F：第5集会室（洋室50名）、第6集会室（洋室50名）、第7集会室（洋室100名） 6F：研修室等						
経過	昭和50年 3月28日 荒川区民会館オープン（昭和50年3月26日 供用開始） 平成 2年 4月 1日 財団法人荒川区地域振興公社へ管理運営を委託 平成 4年 4月 1日 改修工事のため休館（同年10月31日まで） 平成18年 4月 1日 指定管理者制度導入によりMKT共同事業体による管理開始（平成21年度更新） 平成18年 7月 5日 レストランモアにレストラン運営の行政財産使用許可を開始 平成22年 8月 2日 結婚式場と控室を廃止し、社会教育課が荒川コミュニティカレッジとして使用開始 平成24年 4月 1日 指定管理者公募により、MKT共同事業体による管理開始（平成27年度更新） 平成24年 6月 1日 荒川区芸術文化振興財団（ACC）の分室（ARAKAWA1-1-1ギャラリー）が開設 平成28年 4月 1日 平成27年度に1年間休館で実施した大規模改修が終了し、リニューアルオープン 平成30年 4月 1日 指定管理者公募により、㈱ケイミックスパブリックビジネスによる管理開始 令和 5年 4月 1日 2階レストランの営業終了に伴い、ラウンジとしての活用を開始						
必要性	区民の文化の向上とコミュニティ活動促進を図る拠点として設けられた施設であり、必要性は高い。						
実施方法	（ 3委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ） 指定管理者：（株）ケイミックスパブリックビジネス 指定管理料：R4決算161,539,787円、R5決算167,814,573、R6決算176,325,000						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値（8年度）	
	① 荒川区民会館利用人数	209,948	240,173	196,326	230,000	250,000	年間利用者数
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
7年度	8年度						
推進	推進	区民の文化の向上とコミュニティ活動の促進を図り、芸術文化を発信するための拠点として設けられた施設であるため、推進する。					

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		182,695	282,597	207,350	218,729	245,223	602,047	412,493
決算額(7年度は見込み)		176,280	246,369	178,555	191,541	193,200	525,890	412,493
実績の推移	事項名(7年度は見込み)	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	大ホール貸出稼働率(%)	58.1	24.3	66.1	80.9	71.3	71.9	75
	小ホール貸出稼働率(%)	57.0	31.4	55.7	65.3	67.0	66.9	65
	集会室貸出稼働率(%)	40.1	19.7	58.6	55.9	44.4	40.2	40

予算・決算の内訳									
令和5年度(決算)			令和6年度(決算)			令和7年度(予算)			
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	金額(千円)
報償費	実績評価委員会等報酬	60	報償費	実績評価委員会等報酬	121	報償費	実績評価委員会等報酬	121	
需用費	椅子等更新外	326	需用費	舞台機構更新外	65,561	需用費	備蓄物資等	3,030	
委託料	指定管理者委託料外	181,669	旅費	工場検査旅費	76	役務費	郵送料	3	
役務費	無線LAN利用料外	467	委託料	指定管理者委託料外	197,193	委託料	指定管理者委託料外	212,498	
使用料	AEDリース料	69	使用料	AEDリース料	85	使用料	AEDリース料外	111	
備品購入費	指定管理者対応備品	409	備品購入費	指定管理者対応備品	610	備品購入費	指定管理者対応備品	700	
工事請負費	動力盤改修工事	10,200	工事請負費等	照明・音響改修工事外	262,244	工事請負費等	電灯分電盤改修工事外	195,980	

行政コスト計算書									
勘定科目		5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額	
行政費用	給与関係費	7,521	5,194	▲ 2,327	地方税等	0	0	0	
	物件費	182,940	198,075	15,135	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	10,200	276,394	266,194	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	60	121	61	使用料及び手数料	2,957	3,417	460	
	減価償却費	1,010	846	▲ 164	その他	10,782	7,414	▲ 3,368	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	13,739	10,831	▲ 2,908	
	賞与・退職給与引当金繰入額	502	688	186	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 188,494	▲ 470,487	▲ 281,993	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 2,503	▲ 2,239	264	
	行政費用合計(b)	202,233	481,318	279,085	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 190,997	▲ 472,726	▲ 281,729	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 190,997	▲ 472,726	▲ 281,729		

備考 物件費の主な内訳は指定管理者委託料、維持補修費の主な内訳は動力盤・舞台照明・音響等の改修工事費であり、前年度より増となっている。行政収入のその他は指定管理者からの利益納付金(収支差額の1/2)や光熱水費受入である。

問題点・課題 ①利用者ニーズに柔軟に対応できるように、引き続き、指定管理者と連携を図っていく必要がある。
②施設の老朽化を踏まえ、適切に点検及び修繕を行いつつ、長期保全を図っていく必要がある。
③施設の特性を活かした事業を展開することで、区民が身近な場所で芸術・文化に親しむことができる環境を整えていく必要がある。
④敷地の一部が東京都市計画道路補助線街路第90号線の予定地であるため、今後の施設運営への影響を最小限にするため、関係機関と調整していく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き、指定管理者と連携の上、サービスの充実を図る。	俳句のまち10周年イベント事業の実施やコンサートの充実等により、文化・芸術に親しむ環境整備に取り組んだ。	アンケートや意見等より利用者のニーズを取り入れ、満足度の向上に努める。
②	利用者への影響を最小限にできるように、工事・修繕を計画的に実施し、施設の長期保全を図る。	老朽化を踏まえた設備更新(改修工事)について、計画的に実施した。	引き続き、令和7年度分の計画工事を滞りなく完了し、安全で快適な施設環境を整備する。
③	国立劇場歌舞伎公演の実施にあわせ、関連イベント等を実施し、伝統芸能にふれることができる環境を整備する。	出演者トークショーやラウンジやギャラリーを活用した衣装展示等の関連イベントを実施し、伝統芸能保存に寄与した。	引き続き、指定管理者と連携し、多様なジャンルの自主事業を実施することで、区の芸術文化振興を図る。

他区の実況	(実施 22 区)	未実施 0 区	不明 0 区)

議(要質問) 況(要質問) 平成27年度9月会議 「荒川区民会館の長寿命化について」
平成28年決特 「ケータリングの利用方法について」 「休業日の取扱いについて」
令和2年度9月会議 「サンパール荒川の今後の在り方について」
令和5年決特 「宴会利用について」
令和6年予特 「移転建て替えの検討について」 「大規模改修について」

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		68,250	123,597	137,622	110,487	148,201	207,527	75,359
決算額(7年度は見込み)		67,950	98,946	114,057	63,352	106,467	181,072	75,359
実績の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
多目的ホール貸出稼働率		62.7	9.7	31.8	51.9	69.0	68.4	75.0
コンサートサロン貸出稼働率		87.5	21.3	57.5	71.2	81.5	88.1	90.0
会議室貸出稼働率		69.7	18.8	28.1	44.7	54.5	52.4	60.0

予算・決算の内訳								
令和5年度(決算)			令和6年度(決算)			令和7年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
委託料	指定管理委託料等	39,300	委託料	指定管理委託料等	48,546	委託料	指定管理委託料等	53,084
負担金補助等	駐車場建物管理業務経費等	14,876	負担金補助等	駐車場建物管理業務経費等	12,233	負担金補助等	駐車場建物管理業務経費等	17,464
役務費	無線LAN利用料	566	需用費	衛生資材	85	需用費	衛生資材、備蓄物資	4,255
需用費	消耗品費	17	備品購入費	指定管理者対応備品	347	備品購入費	指定管理者対応備品	500
備品購入費	指定管理者対応備品	447	使用料及び賃借料	日暮里駅前駐輪場サービス券等	46	使用料及び賃借料	日暮里駅前駐輪場サービス券等	56
使用料及び賃借料	日暮里駅前駐輪場サービス券等	61	工事請負費	ホール改修工事	119,805			
工事請負費	ホール改修工事	51,200	旅費	工場検査旅費	10			

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
		給与関係費	6,636	5,594		▲ 1,042	地方税等	0
物件費	40,392	49,035	8,643	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	14,875	12,232	▲ 2,643	使用料及び手数料	0	0	0	
減価償却費	36,010	36,010	0	その他	6,089	5,760	▲ 329	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	6,089	5,760	▲ 329	
賞与・退職給与引当金繰入額	443	740	297	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 92,267	▲ 97,851	▲ 5,584	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	98,356	103,611	5,255	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 92,267	▲ 97,851	▲ 5,584	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 92,267	▲ 97,851	▲ 5,584	

備考 物件費の主な内訳は指定管理委託料である。令和6年度は設備等改修工事による休館に伴う利用料金減収分を支出したことにより、前年度から増加となっている。補助費等の主な内訳はラングウッド駐車場建物管理業務経費等負担金及びラングウッド計画修繕補修工事等負担金である。

問題点・課題 ①多様化する利用者ニーズに柔軟に対応できるよう、指定管理者と密に連携し、利用者満足度やサービスの向上に努める必要がある。
②施設の老朽化を踏まえ、定期的な点検及び必要な修繕を行いつつ、複合施設であることから、施設のホール改修工事等の際には、ホテルラングウッドとの綿密な調整・連携が必要である。
③地域の賑わい創出及び利用者の拡大を図るため、自主事業等の積極的な企画・実施が求められる。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	アンケート回答をもとに、施設の管理・運営を見直し、より多くの利用者ニーズに応えられるよう取り組む。	通年で利用者アンケートを実施し、意見を基に、備品や消耗品等の見直しを行い、必要に応じて設備を充実させるなど、迅速に対応した。	利用者のニーズを把握し、設備の拡充や事業の実施等に積極的に取り組み、利用者満足度の向上に努める。
②	引き続き関係各所と連携をし、工事のスケジュールや作業内容を適宜共有していく。	施工業者やホテル等関係機関と綿密に調整を行ったことにより、大きなトラブルなく工事を終えることができた。	ホテルとは日々の運営をはじめ、修繕・工事の際にも引き続き綿密な連携を図っていく。
③	引き続き稼働率の向上及び利用者数の増加に向けた取り組みについて指定管理者と協議・検討していく。	施設の認知度向上のため、毎月情報誌を発行したほか、区公式SNSを活用した施設紹介の投稿を行った。	情報誌やSNSを活用した情報発信のほか、施設の特性を活かした自主事業等を実施し、施設の魅力度及び認知度の向上に努める。

他区の実況	(実施 22 区)	未実施 0 区	不明 0 区)
議(要旨)問状			

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		108,668	125,892	123,674	154,478	239,945	99,396	99,278
決算額(7年度は見込み)		102,156	107,108	114,581	125,901	222,315	95,465	99,278
実績の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
事項名(7年度は見込み)								
多目的ホール貸出稼働率		61.4	12.1	32.6	57.4	57.1	50.0	60.0
会議室貸出稼働率		57.6	14.6	62.0	41.4	49.8	59.2	60.0
スタジオ貸出稼働率		70.8	12.0	59.9	45.7	44.6	56.1	60.0
ギャラリー貸出稼働率(R5廃止)		26.0	4.2	54.1	20.0	0	0	0

予算・決算の内訳								
令和5年度(決算)			令和6年度(決算)			令和7年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	管理規約に基づく分担金	51,380	負担金補助等	管理規約に基づく分担金等	52,002	負担金補助等	管理規約に基づく分担金	52,145
委託料	指定管理委託料等	38,995	委託料	指定管理委託料等	37,819	委託料	指定管理委託料	39,927
役務費	無線LAN利用料	508	需用費	衛生資材、ドレン管修繕	5,076	需用費	衛生資材、備蓄物資	6,674
需用費	消耗品費等	182	備品購入費	指定管理対応備品	419	備品購入費	指定管理対応備品	500
備品購入費	指定管理対応備品	497	工事請負費	ホール壁工事	121	使用料等	AEDリース料	32
工事請負費	ホール改修工事	130,730	使用料等	AEDリース料	28			
使用料等	AEDリース料	23						

(単位：千円)

勘定科目		5年度	6年度	差額	勘定科目	5年度	6年度	差額
行政コスト計算書	給与関係費	6,636	5,594	▲ 1,042	地方税等	0	0	0
	物件費	40,040	38,345	▲ 1,695	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	165	5,118	4,953	都支出金	0	0	0
	行政費用	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	51,380	52,002	622	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	71,609	78,797	7,188	その他	51	47	▲ 4
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	51	47	▲ 4
	賞与・退職給与引当金繰入額	443	740	297	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 170,222	▲ 180,549	▲ 10,327
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	170,273	180,596	10,323	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 170,222	▲ 180,549	▲ 10,327
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	2,260	0	▲ 2,260	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	2,260	0	▲ 2,260	当期収支差額(e)+(h)	▲ 167,962	▲ 180,549	▲ 12,587	

備考 物件費の主な内訳は指定管理者委託料である。令和6年度の維持補修費の主な内訳は空調機用ドレン管修繕費である。補助費等の主な内訳はセンターまちや管理運営費等の負担金である。

問題点・課題 ①多様化する利用者ニーズに柔軟に対応できるよう、指定管理者と連携し、利用者満足度やサービスの向上に努める必要がある。
②施設の老朽化を踏まえ、定期的な点検及び必要な修繕を行いつつ、複合施設であることから、施設の改修工事等の際には、センターまちや管理組合との調整・連携が必要である。
③円滑な施設運営に向けて、町屋区民事務所及び関係各所との日々連携を行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	アンケート回答をもとに施設の管理・運営を見直し、より多くの利用者ニーズに応えられるよう取り組む。	通年で利用者アンケートを実施し、円滑な予約受付業務を行うための業務フロー等の見直しや改善を行った。	利用者アンケートを基に利用者ニーズを把握しつつ、施設の魅力度及び認知度の向上につながる事業を実施していく。
②	今後も施設の工事や修繕を行う際には、関係各所に適宜情報共有を行っていく。	各階にまたがる工事を実施した際には、管理組合とも事前の調整・情報共有を行い、円滑に工事を進めることができた。	施設及びセンターまちやの工事等の際には、事前調整を密に行い、連携を図っていく。
③	日々の業務において、町屋区民事務所や関係各所と連携をし、協力体制を構築する。	日々業務を行う中で、双方から意見・要望があった際には都度協議を行うなど、密に連携した。	引き続き日々の運営や業務に関して情報共有や連携を行い、協力体制の構築を図っていく。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
議(要旨)問状	

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		11,447	8,446	5,851	5,784	6,400	8,599	8,953
決算額 (7年度は見込み)		4,709	804	727	1,191	4,034	5,063	8,953
実績の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
事項名 (7年度は見込み)								
交流都市ツアー一応募者数		328	0	84	328	147	216	325
予算・決算の内訳		令和5年度 (決算)		令和6年度 (決算)		令和7年度 (予算)		
節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)	節	主な事項	金額 (千円)
報償費	まつり・出展謝礼	200	報償費	まつり・出展謝礼	184	報償費	まつり・出展謝礼	367
旅費	交流都市事業等出張旅費	162	旅費	交流都市事業等出張旅費	185	旅費	交流都市事業等出張旅費	634
需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	386	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	624	需用費	交流都市等訪問時贈い、土産等	745
役務費	キャラバン派遣団体交通費	9	役務費	キャラバン派遣団体交通費	6	役務費	キャラバン派遣団体交通費	20
委託料	国内交流ツアー、交流都市フェア委託料	2,742	委託料	国内交流ツアー、交流都市フェア委託料	3,443	委託料	国内交流ツアー、交流都市フェア委託料	5,942
使用料等	交流会施設使用料等	262	使用料等	交流会施設使用料等	305	使用料等	パネル展付帯設備料等	825
負担金等	青少年健全育成活動事業	273	負担金等	青少年健全育成活動事業	316	負担金等	青少年健全育成活動事業	420

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	5年度	6年度	差額		5年度	6年度	差額	
行政コスト計算書	給与関係費	11,502	12,386	884	地方税等	0	0	0
	物件費	3,552	4,556	1,004	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	482	507	25	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	768	1,640	872	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 16,304	▲ 19,089	▲ 2,785
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	16,304	19,089	2,785	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 16,304	▲ 19,089	▲ 2,785
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 16,304	▲ 19,089	▲ 2,785	

備考 物件費については、荒川区交流都市フェアの開催に伴う委託料の増によるものである。

問題点・課題 ①自治体及び住民同士の交流を効果的に促進・醸成できるツアーの企画をする必要がある。
②交流都市フェア等における各都市の物販等を通して、交流都市についての区民の関心を一層高める必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区民にとってより参加しやすい内容を検討し、区民ツアーを実施する。	安全に配慮し、幅広い年齢層の区民が参加しやすい内容を検討し、現地でのツアーを実施した。	地元住民との交流や、交流都市職員による説明等、区主催のツアーならではの内容となるように実施する。
②	交流都市の意向を踏まえた特産品販売会の内容を検討する。	来場者の方を巻き込んだステージPRなど、交流都市の意向を踏まえた内容で特産品の販売会を実施し、来場者からも好評であった。	各都市の物産について関心を持ってもらうために、本庁舎1階展示、HP、SNS、他施設等を活用した広報活動を充実する。
③			

他区の実況	(実施)		未実施		不明					
	22	区	0	区	0	区				
議(要質問状)	令和3年9月	交流都市との継続的な関係作りについて	令和5年5月	荒川区の国内都市交流の状況について	令和5年6月	国内都市との関係性について	令和6年2月	福島市との交流(学童集団疎開)について	令和6年11月	交流都市との更なる交流について

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	05-01-04	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事				
事務事業名	国際交流協会補助	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田		
		担当者名	阿部	内線	2524		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-03-01	国際交流協会補助					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 7年度 <input type="radio"/> 6年度）		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 5（1993）年度	根拠	荒川区国際交流協会補助金交付要綱				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 令和（ ）年度	法令等	設立趣意書				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input checked="" type="radio"/> 計画 <input type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進				
目的	区民の国際交流活動の拠点として、国際交流事業を推進し、海外都市との友好親善と区民の国際理解を深めながら荒川区の国際化を図り、荒川区を世界に開かれた夢のあるまちとすることを目的とする。（協会会則第3条）						
対象者等	荒川区国際交流協会 設立 平成5年10月21日 組織 理事12人、事務局7人（区職員兼務）、監事2人 会員 賛助会員(158名)、協力会員(351名) ※令和7年4月1日現在						
内容	≪荒川区国際交流協会の主な事業≫ ※（ ）内は開始年度 <input type="radio"/> 在住外国人支援事業 日本語教室(平成13年度 ※5～12年度区主催)…年間120回(60回×2コース)、外国人のための防災講座(平成6年度) <input type="radio"/> 国際理解・啓発事業 日本語サロン(平成10年度)…週1回×3コース、世界の料理教室(平成24年度)、広報宣伝活動…協会便り(年1回発行)、事務局便り(月1回発行) <input type="radio"/> 区民相互の交流事業 川の手荒川まつり出展、日本語スピーチ大会(平成7年度)、国際交流バスハイク(平成6年度)、茶道教室(平成13年度)、華道教室(平成23年度) <input type="radio"/> 海外友好交流事業 ウィーン市ドナウシュタット区高校生派遣、ウィーン大学生インターンシップ受入事業(平成17年度)、日澳親善リサイタル(平成26年度)、周年事業						
経過	事業実施状況の推移 ・令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、ほとんどの事業を休止または中止とした。 ・令和4年度は実施方法を工夫するなど事業を徐々に再開し、賛助会費の徴収を3年ぶりに行った。 ・令和5年度は殆どの事業が再開し、令和6年度には「ウィーン大学生インターンシップ受入事業」を再開した。 ・未実施事業に関する補助金は区へ返還している。 <input type="radio"/> 令和6年度事業内容 日本語教室4月～3月(120回)、日本語サロン2コース、外国人のための防災講座、華道・茶道教室・浴衣散策・国際交流バスハイク等を実施 <input type="radio"/> 協会30周年 令和5年度に協会設立30周年を迎えた。協力ボランティアを招き、表彰並びに感謝のつどいを行った。						
必要性	交流都市との交流事業や在住外国人への支援、交流を推進し、区民の国際理解を深めるとともに、多文化共生の地域社会を実現するため、協会への支援は必要である。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input checked="" type="radio"/> 会計年度任用職員） 協会の派遣依頼により、地域文化スポーツ部長は事務局長、課長は事務局次長、都市交流係員は事務局員を兼職。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		4年度	5年度	6年度	7年度見込み	目標値(8年度)	
	① 協力会員・賛助会員数	531	469	496	530	670	個人+団体数
	② 海外都市交流事業参加者数	49	255	308	330	360	区民と外国人が相互交流する事業の合計
③ 通訳ボランティア登録言語数	16	17	18	19	20		
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
7年度	8年度						
重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際理解・交流の推進母体として支援する必要があるとともに、在住外国人支援事業を重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		6,636	5,852	5,852	5,852	5,852	5,852	6,052
決算額(7年度は見込み)		3,394	1,554	2,310	2,603	4,882	3,825	6,052
実績の推移	事項名(7年度は見込み)	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
	協力会員(人数)	370	366	338	369	336	345	370
	賛助会員(件数：団体+個人)	169	155	153	162	133	151	160
	補助金の協会事業に占める割合(%)	55.0	95.0	92.0	76.2	64.5	61.7	50.0
予算・決算の内訳								
令和5年度(決算)			令和6年度(決算)			令和7年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	国際交流協会補助	4,882	負担金補助等	国際交流協会補助	3,825	負担金補助等	国際交流協会補助	6,052

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		5年度	6年度	差額	勘定科目		5年度	6年度	差額
	行政費用	給与関係費		12,387	11,987	▲400	地方税等		0	0
物件費			0	0	0	国庫支出金		0	0	0
維持補修費			0	0	0	都支出金		0	0	0
扶助費			0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0
補助費等			4,882	3,825	▲1,057	使用料及び手数料		0	0	0
減価償却費			0	0	0	その他		0	0	0
不納欠損・貸倒引当金繰入額			0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0
賞与・退職給与引当金繰入額			827	1,587	760	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲18,096	▲17,399	697
その他行政費用			0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0
行政費用合計(b)			18,096	17,399	▲697	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲18,096	▲17,399	697
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲18,096	▲17,399	697	

備考 行政費用では、ウィーン市ドナウシュタット区高校生相互派遣事業に要する航空券を早期に取得したことに伴い、航空券価格が安くなったことなどから、協会への補助費等が昨年度より減額している。

問題点・課題 ・区民相互の交流事業において、参加者が前年に比べ減少している事業があることから、今後も安定した参加者を見込めるよう、効果的な周知を行う必要がある。
・次世代を担う高校生に対し、国際感覚を身につけ今後の人生のキャリアに活かしてもらうため、留学支援を継続して行っていく必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区報・HPに加え、日本語教室や日本語サロンでの周知強化、事業のリーダー向けに周知を図り、参加者の回復に努める。	区報・HP等複数の媒体による情報発信を強化し、周知の幅を拡大した。その結果、一部事業で参加者が回復した。	日本語教室やサロン等の場を活用した対面での周知を実施し、対象層への効果的な情報提供を行っていく。
②	海外交流都市との高校生相互派遣事業を実施する。	相互派遣実施時、相互の文化を学び、更には荒川区の魅力発信を行った。	相互派遣事業に加え新たに、海外交流支援を行い、さらに多くの学生への機運醸成を図っていく。
③			

他 区の実況 (実施 4 区 未実施 18 区 不明 0 区)

国際交流協会設置自治体※東京都国際交流委員会HPより

況 議(要旨) 令和4年度2月 荒川区国際交流協会の補助金について

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	05-01-05	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事					
事務事業名	海外都市交流事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	須田			
		担当者名	阿部	内線	2524			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）	01-03-02	海外都市交流事業						
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 7年度 <input type="radio"/> 6年度)		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業					
開始年度	平成 5 (1993) 年度	根拠法令等	友好都市提携協定					
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 令和 () 年度	法令等	国際化推進員設置要綱					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	02	国内・海外都市との交流の推進					
目的	海外都市に対する区民の関心を高めることにより、世界に開かれたまちとしての荒川区の魅力や活力を高めるとともに、産業交流等により区内の優れた技術や製品を広くアピールする。（荒川区都市間交流に関する取り組み指針[平成17年11月策定]）							
対象者等	・ドナウシュタット区(オーストリア共和国ウィーン市)…平成8年10月21日提携(荒川公園に桜を植樹) ・済州市(韓国済州特別自治道)…平成18年2月17日提携 ・中山区(中国大連市)…平成18年3月10日提携							
内容	海外友好都市等との都市間交流、連絡、調整及び相互訪問等 <ドナウシュタット区> 高校生相互派遣(受入:平成6年度～、派遣:平成9年度～ ※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和2～4年度は中止) (国際交流協会主管)、ウィーン大学生インターンシップ受入(平成17年度～ ※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和2～5年度は中止)、 ドナウ会クリスマス会 <済州市> 区民ツアー、ドルブル祭への参加、済州市老人会の訪問受入(民間交流) 済州島国際青少年フォーラムへの高校生派遣(～平成29年度 国際交流協会主管) <中山区> 区民ツアー(国際交流協会主管) 産業交流(日暮里ファッションショー・平成24年度～平成30年度)							
経過	[ドナウシュタット区] 平成13年度 提携5周年記念荒川展(ドナウシュタット区)、ドナウ通り・広場(南千住)平成18・23・28年度 区民ツアー(協会事業)、平成20年度 両区訪問団相互訪問、平成26年度 ラルゴ・フットボールクラブ親善試合(民間交流)、平成28年度 提携20周年記念ウィーン荒川展(伝統工芸展)開催 東京荒川少女少女合唱隊訪問(民間交流) [済州市] 平成18・22・28年度 区民ツアー(協会事業)、平成19年度 市職員研修受入(～24年度)、ドルブルへ代表団派遣(～22年度、24・26～29年度) 平成23年度 友好交流5周年事業、平成28年度 友好交流10周年事業(サッカー親善試合) 令和5年度 済州市長来訪 [中山区] 平成17年度 両区長の相互訪問、平成9年・18年・22年度 区民ツアー(協会事業)、平成21年度 職員受入、平成29年度 7か7祭訪問、平成30年度大連市等の児童の文化発表会受入、令和元年度中山区書記来訪、令和5年度 中山区書記来訪							
必要性	荒川区を世界に開かれたまちとして、産業・観光・芸術文化・スポーツなどの広範な分野にわたる交流を深めていく必要がある。							
実施方法	(1直営) (直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤職員 <input checked="" type="radio"/> 会計年度任用職員) 交流事業は荒川区国際交流協会が実施している。							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み		目標値(8年度)
	①	訪問回数	0	1	1	1	3	荒川区⇒海外都市
	②	受入回数	0	3	1	1	3	海外都市⇒荒川区
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
7年度		8年度						
推進	推進	海外友好都市との交流は国際理解や文化交流のために大きく貢献する事業であり、対面での交流を中心として相互の交流実施を推進する。						

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		14,967	16,537	11,302	10,641	10,842	12,421	14,170
決算額(7年度は見込み)		12,641	12,948	8,429	8,439	10,217	9,894	14,170
実績の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
事項名(7年度は見込み)								
海外出張旅費支出人数		3	0	0	0	2	2	2
海外受入・訪問団体数		3	0	0	0	3	1	3
予算・決算の内訳								
令和5年度(決算)			令和6年度(決算)			令和7年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
報酬	国際・都市交流推進員報酬	6,166	報酬	国際・都市交流推進員報酬	5,406	報酬	国際・都市交流推進員報酬	6,507
職員手当等	国際・都市交流推進員期末手当	1,225	職員手当等	国際・都市交流推進員期末手当	1,665	職員手当等	国際・都市交流推進員期末手当	2,493
共済費	国際・都市交流推進員社会保険費	1,061	共済費	国際・都市交流推進員社会保険費	1,031	共済費	国際・都市交流推進員社会保険費	1,380
旅費	近接地外旅費等	1,708	旅費	近接地外旅費等	1,385	旅費	近接地外旅費等	3,452
需用費	交流都市訪問団受入時土産品代等	25	需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	29	需用費	交流都市訪問団受入時贈い等	154
役務費	保険料・通訳料	32	役務費	交流都市訪問時入出国税等	22	役務費	交流都市訪問時入出国税等	184

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		5年度	6年度	差額	行政収入	勘定科目		5年度	6年度	差額
	給与関係費		10,204	10,021	▲183		地方税等		0	0	0
物件費		1,755	1,308	▲447	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		0	0	0		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		11	22	11	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		0	0	0		
賞与・退職給与引当金繰入額		260	291	31	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲12,230	▲11,642	588		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		12,230	11,642	▲588	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲12,230	▲11,642	588		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲12,230	▲11,642	588		

備考 行政費用では、ウィーン市ドナウシュタット区高校生相互派遣事業に要する航空券を早期に取得したことに伴い、航空券価格が安くなったことなどから、物件費が前年度と比べて減少した。

問題点・課題 ・区民の海外交流都市への関心をより一層広めるために、国際交流協会の事業などを通し、海外交流都市のPRに努める必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	国際交流協会の事業を通し、海外交流都市のPRを行い、より多くの区民に対して国際理解の普及啓発に努める。	交流事業を通し、区民に対し、海外交流都市のPRを行った。	多くの区民に認知いただけるように、7年度以降も、海外交流都市における啓発活動を行い、国際理解と文化交流へつなげる。
②			
③			
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)		
姉妹・友好都市提携状況	各区ホームページ等より		
議会(要旨)質問状	平成28年度9月 濟州市・大連市中山区との継続的な交流推進について 平成28年度決特 国際交流の現状と今後について(文化団体の交流事業) 平成29年度2月 濟州市との今後の交流関係について 令和3年度2月 国際交流都市との民間交流の取り組みについて 令和4年度2月 中国大連市中山区及び韓国濟州市との友好交流の解消について		

事務事業分析シート（令和7年度）

No1

事務事業コード	05-01-02	戦略プラン	<input checked="" type="radio"/> 協働 <input type="radio"/> 業務 <input type="radio"/> 財務 <input type="radio"/> 人事					
事務事業名	地域活動支援事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課		課長名	須田		
		担当者名	田口		内線	2523		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（7年度）		01-01-02	地域活動支援事業					
事務事業の種類		<input type="radio"/> 新規事業 (<input type="radio"/> 7年度 <input type="radio"/> 6年度)		<input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	平成 19 (2007) 年度	根拠	荒川区地域活動支援事業補助金交付要綱					
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無 () 年度	法令等						
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画				
行政評価事業体系	分野	VII 計画推進のために						
	政策	13 区民の主体的な区政参画と連携強化						
	施策	01 区民参画・協働の推進						
目的	1 豊かで住みよい地域社会を築くため、区民や区民団体等の地域活動を支援し、区政参画の機会を拡大するとともに、区民や区内団体等との協働の促進を図る。 2 団塊世代の方々が地域の活動や区政運営に積極的に参画し、地域の人的資源として活躍できるよう支援する。							
対象者等	区民団体、定年退職後の区民、地域活動に関心のある区民等							
内容	1 地域活動サロン「ふらっと.フラット」の運営補助 （運営）荒川区社会福祉協議会 （場所）生涯学習センター1階 （開所日）月～金：13:00～19:00（第1・3水金は13:00～21:00 祝祭日を除く） （内容）・地域活動の拠点となるサロンの運営、情報提供、相談、コーディネート 2 令和6年度の活動 地域活動スペースの提供や地域活動に関する窓口として運営した他、自主講座である「地域活動入門講座」、「ユニーク・アイ」、「ふらっとワークショップ」等を実施し、多様な地域活動を支援した。 講座名 地域活動支援講座「読んで演じる会ほっとは〜と」と朗読劇！ ふらっとワークショップ「屋上花壇で藍の苗づくり！」ほか							
経過	平成19年度 地域活動サロン「ふらっと.フラット」開設、団塊世代活動支援コーナー開設 平成20年度 南千住図書館における団塊世代の図書特集の開催（1～3月） 関係機関連絡会の開催（2回） 平成21年度 区報「地域活動特集号」の発行、関係機関連絡会の開催 平成22年度 職員向け協働ガイドラインの検討 平成25年度 職員向け協働ガイドラインの策定 平成27年度 事業を文化交流推進課に移管 平成29年度 開設10周年記念事業として、ユニークアイspecial「おとなたちの音楽と紙芝居」を実施、記念誌の作成 令和元年度 ユニークアイspecialをオリンピック・パラリンピックプレイヤー事業として実施 令和2～4年度 感染症対策を実施しながら事業を再開							
必要性	多様化する区民ニーズに的確に応える区政運営のためには、区民の区政参画の機会拡大はもとより、区民や区内団体等との協働の促進が不可欠である。また、団塊世代を中心とした区民の地域活動の支援は、地域の活性化につながることから、その必要性は高い。							
実施方法	（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤職員 <input type="radio"/> 会計年度任用職員 ） ふらっと.フラット：社会福祉協議会に対する運営費補助							
指 標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			4年度	5年度	6年度	7年度見込み		目標値(8年度)
	①	ふらっと.フラットの利用者数(人)	4,815	5,029	4,390	5,000	5,500	相談、講座、場所利用、情報収集等
	②							
③								
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
7年度		8年度						
継続		継続						
区民や区民団体等の地域活動を支援し、協働を促進していくため、他部署とも連携しながら継続して実施する。								

予算・決算額等の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
予算額		6,525	7,632	7,703	7,674	7,668	9,837	9,846
決算額(7年度は見込み)		6,379	7,379	7,493	7,566	7,667	8,837	9,846
実績の推移		元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
事項名(7年度は見込み)								
ふらっと・フラットの事業数(回数)		45	40	52	59	69	63	70
予算・決算の内訳		令和5年度(決算)		令和6年度(決算)		令和7年度(予算)		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
負担金補助等	地域活動支援事業補助金	7,596	負担金補助等	地域活動支援事業補助金	8,837	負担金補助等	地域活動支援事業補助金	9,846
償還金利子等	補助金返還額	71						

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		5年度	6年度	差額	行政収入	勘定科目		5年度	6年度	差額
	給与関係費		1,327	1,199	▲128		地方税等		0	0	0
物件費		0	0	0	国庫支出金		0	0	0		
維持補修費		0	0	0	都支出金		5,064	5,908	844		
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金		0	0	0		
補助費等		7,667	8,837	1,170	使用料及び手数料		0	0	0		
減価償却費		0	0	0	その他		0	0	0		
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)		5,064	5,908	844		
賞与・退職給与引当金繰入額		89	159	70	行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲4,019	▲4,287	▲268		
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)		0	0	0		
行政費用合計(b)		9,083	10,195	1,112	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲4,019	▲4,287	▲268		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲4,019	▲4,287	▲268		

備考 行政費用の補助費等は、ふらっと・フラットの補助金である。職員の給与改定等により、前年より増加した。

- 問題点・課題
- ①地域活動の裾野の拡大や地域力を高めるために、地域活動についてより効果的の周知に努め、担い手を増やしていく必要がある。
 - ②地域活動の支援等を行っていくため、他部署や関係機関と連携し、情報共有や適切な支援体制及び新たな支援体制等についての検討や調整を引き続き行う必要がある。

問題点・課題の改善策

	令和6年度に取り組む具体的な改善内容	令和6年度に実施した改善内容および評価	令和7年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	より多くの人にふらっと・フラットを認知してもらうよう、引き続き地域活動の支援やイベントの実施を行う。	毎月実施している自主講座について、区報等、複数の広報誌に掲載し、より多くの人に認知してもらうよう努めた。	引き続きふらっと・フラットの認知度の更なる向上に向けて、積極的な自主講座の実施等を支援する。
②	引き続き関係部署と協力や連携をし、より効果的な地域活動支援を行う。	自主講座実施の際に、講座内容に関連する部署に対して、事前に情報共有を行った。	引き続き活動を通して、関連する部署に対して情報共有を行い、協力や連携を図る。
③			

他 区の実施状況 (実施 10 区 未実施 12 区 不明 0 区)

ふらっと・フラットに類似したコミュニティサロンを開設する区の数

況(要質問) 議(会質問) 平成20年4定：団塊世代の参画の推進について
平成22年1定：シルバーパワーの活用について
平成22年2定：新しい公共について
令和5年2月：NPO活動等への支援施策について